

注目! まちの話題



「綱を握る手に思いを込めて」
第2回古河市綱引大会

9月11日、古河はなもも体育館(中央運動公園体育館)で第2回古河市綱引大会が開催されました。

古河市綱引連盟所属の男子7チーム、女子3チームが男女別の総当たりで対戦。ギュッ、ギュッと綱が軋む音と息の合ったかけ声が体育館中に響き、手に汗握る熱戦が繰り広げられました。

平成31年に開催される「いきいき茨城ゆめ国体」の綱引競技会場であるこの場所に、県代表として参加する市内の選手が出てくるか楽しみです。



▲1チーム8人で構成され、試合時間は無制限。茨城国体公式マスコットの「いばラッキー」も応援に駆けつけました



いつまでもお元気で
～高齢者へ「敬老祝金」を贈呈～



▲大正5年生まれの坂巻さん。「子6人・孫15人・ひ孫18人に恵まれ、とても幸せです」

市では長寿をお祝いして、77歳・88歳・100歳以上の1,924人(100歳以上の人は60人)に敬老祝金を贈呈しました。

8月下旬には、菅谷市長が100歳以上の人を訪問。今年11月の誕生日で100歳を迎える坂巻トクさん(桜町)は「テレビでのスポーツ観戦が趣味。特にサッカーや相撲は、孫と応援合戦をしている」と話し、とてもお元気。また、孫主催で毎年行われている誕生日会を楽しみにしているそうで、「今年は100歳のお祝いなので、特に盛大にやります」と孫の祐之さんは、今から張り切っていました。



白熱した試合を展開
～行政自治会親善バレーボール大会～



▲一進一退の攻防に観客もくぎ付け。ラリーが続き、スパイクが決まると大きな歓声があがりました

地域の絆と交流を深めようと、8月21日、古河はなもも体育館(中央運動公園体育館)など4会場で、第7回古河市行政自治会親善バレーボール大会が行われました。当日は、9人制バレーボールの部に39チーム、4人制ソフトバレーボールの部に49チームが出場。市民約800人が残暑を吹き飛ばすような熱戦を繰り広げました。

各チームとも技ありのサーブやフェイントなどを駆使し、白熱した試合を展開。選手はもちろんのこと、声援を送る応援席の観客も一段と熱が入っていました。